

# 第2回学校運営協議会 記録 R. 2. 10. 22 (木) 13:15~

## 1 開会

### 2 開会の挨拶 (小野寺 副委員長)

山内委員長の代理を務めます。評価等重要な案件がありますので、活発にご意見をいただきたい。

### 3 教育長挨拶

平日、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。授業を見ていただきたく、この時間を設定しました。伊小は、優しい雰囲気につつまれた学校、地域の皆様に支えられている常に未来志向のふるさと教育に取り組んでいる学校です。キャラクターなど新聞に取り上げられ、化石の学習等も行っています。地域の学習が盛んで、地域に大切にされている子供たちです。人の傷みも理解でき、九州豪雨への募金等も自主的に行っています。震災から10年、道路整備も進んでいます。学校と地域がより一層結びつくよう、保護者の皆様と話し合いを重ねていきたいと思えます。

### 4 学校長挨拶

お忙しい中、お集まりいただき御礼を申し上げます。本校は、先週、学習発表会が新しい生活様式のもとで行われました。3部形式、完全入れ替え制とし、密を避けて実施しました。マスク着用についてですが、少しでも楽しくなるようマスクシール、マスクホルダーの製作をして、笑顔がでるように考えました。また、静岡の牧之原のお茶に御礼を出したところ、たくさんいただきました。本日は、授業も見えていただきます。町のギガ構想のもと、子供たちの考えを引き出すツールとしてタブレット等を活用していきたいと考えております。

### 5 授業参観

3年→4年→1年→2年 (5, 6年は時間の都合上参観できず)

### 6 協議

#### (1) 中間報告 (浅野; 資料参照)

校長; 命にかかわることは省略はしない考えである。地域防災としては、児童が率先避難者となることを期待している。

高橋; ねらいから必要な行事である。児童は、先生方の指導をよく聞いている。地域コミュニティの推進として、**引き渡し安全かどうか心配な点がある。学校と地域の安全が確認できる方法を探したい。保護者としては、メールで学校や児童の状態がどうなっているかがわかることができるとよい。(道路事情や安全な場所の確認も必要ではないか。)**

小野寺; 引き渡し後については、地域に課題があると思われる。

中学生で自転車に乗れない生徒がいると聞いている。学校は高台にあり、通学路は砂利道が多い。

自転車乗りの練習をする時間がないこともあり、自転車通学をすぐすることは難しいのではないかと。

校長; 引き渡しの際には、津波避難注意報が解除されてから行う。日常的に自転車に乗る指導は行っている。

小野寺; 学習支援部の活動について、ご意見はありませんか。

校長; たつがねっ子まつりについては、来場者が想定できなかったので校内での対応とした。

小野寺; 6年総合「歌津の歴史を知ろう」の講師をしたが、感想に「インターネットに出てこないことを知ることができた」という記述が多かった。南三陸町ではなく、歌津のみを郷土と感じているが、合

併後月日が経ったので、南三陸町が郷土と感じている子供たちが多いたうかがえる。

高橋；歌津の歴史について、だんだん伝えられる人が少ないので、ネット上にのせることも大切かと思う。  
小野寺；ネットを使った学習等を公民館と共同で行っていききたい。簡野道明という字源を作った人のルーツをたどると、歌津管の浜ということである。有名な先人が歌津にもいると子供たちの誇りとなる。  
高橋；長男が化石掘りに行き、興味をもった。身近にいても知らないことがある。

阿部；**子供たちは地元のことを知らない。お年寄りとのコミュニケーション手段がないので聞くことができない。**

小野寺；家庭の中でのお年寄りの役割がある。しかし、コロナ等のために制限されることが多い。

浅野；広報・評価部について説明

校長；今年度は、HPが充実しており、アクセスも多い。

高橋；**メールにURLを付けていただくと助かります。**

(2) 10月以降の活動についての確認（浅野；資料参照）

## 7 その他

(1) 第3回学校運営協議会の内容の確認（浅野）

令和3年2月26日（金）夕方から実施の予定

(2) 読み聞かせボランティアについて（浅野）

歌津地区で読み聞かせのご協力ができる方がいましたら、情報を学校までお願いします。

(3) 登下校の見守り隊について（浅野）

低学年を中心に、バス停まできてくださる保護者の方々があります。バス通学が続くまで、この方法で児童の見守りをしていきたいと思えます。

小野寺；ハマーレ前からハーレーまで、年度末を待たずに道路が開通する予定だが、歩道は未定。

教育長；スクールバスについては、統合した地区のバスは残します。震災前に戻ることが前提だが、戻ってすぐ徒歩や自転車通学は対応することは難しい。登下校の練習が必要と考えられる。季節ごとの対応も必要。児童生徒・保護者の声を聞きたい。ただし、昔と全く同じにはできない。計画的に進めていきたい。

小野寺；「命を守る」すべを身に付けるのは自分自身である。**夜の通学路を点検してほしい。（街灯が足りないようだ）また、集団で登下校はできない状況である。一人で危ない箇所があるので、地域の中で点検する必要がある。（歩道の草）**

## 8 閉会の挨拶（高橋）

本日は、ありがとうございます。コロナ感染防止のため、頑張っていた先生方に感謝しています。地域のつながりとしては、まだ、足りない部分があるのでよろしくお願いします。